

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター

だより

第197号 2020年10月号



開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



*** 秋になりました。アカトンボが舞い始めました ***

秋になりました。数はまだ少ないですが秋風あきかぜに乗りアカトンボが優雅ゆうがに舞い始めました。

一般的いっぱんてきには、ウスバキトンボやショウジョウトンボを含めて、体からだの色が赤色やオレンジ色のトンボのことをアカトンボと呼んでいます。狭い意味

では「トンボ科アカネ属」のことをさします。アキアカネやナツアカネ、ヒメアカネなどアカネ属のトンボは日本では21種類確認されています。アカトンボといわれるトンボは季節や性別によって色や濃さちがが違います。アキアカネはオスの方が赤く、秋の深まりとともに赤色が濃くなります。

アキアカネやナツアカネなどは高い木の枝えだの先に体しめんを地面とほぼ水平にしてとまることが多いです。毎年、桶ヶ谷沼の木道にアカトンボがとまるように竹竿たけざおを100本ぐらいたてます。10月18日(日)には、アカトンボ観察会を行い一定の時間内で何頭のアカトンボが竹竿の先にとまっているかを調べます。今年は梅雨の長さや猛暑の影響えいきょうなのか桶ヶ谷沼で見ることができるトンボの数も種類しゅるいも例年より少なくなっているため今回の調査会の結果を心配しています。その結果は来月号でお知らせします。



アキアカネの移動

アキアカネは6月ごろ水田や沼・池で羽化し、やがて山に向かって集団で移動します。7～8月の暑い時期を山の上で過ごし、体が成熟した9月下旬ごろ平地に降りてきます。この頃麦わら色だった胴体が赤く変化しています。アキアカネの多くは群れをなして長距離移動することが知られており、マーキング調査(捕まえたトンボの翅に捕獲場所、月日



などを記入して放す) では数十km移動したという記録があります。ナツアカネなどもアキアカネほどではありませんが移動します

オレンジ色のウスバキトンボも移動します。ウスバキトンボは日本のはるか南からやってきて短期間で世代交代(卵⇒ヤゴ⇒成虫)を繰り返しながら北へ北へと移動し、冬に死んでしまいます。野原で群れをなして飛んでいるのはウスバキトンボが多いようです



ウスバキトンボ

黒いトノサマバッタの幼虫が・・??

9月上旬、ビジターセンターの近くの方から「黒いトノサマバッタの幼虫を捕まえました。珍しいのでセンターで紹介してください。」とのお話があり、飼育箱で飼育することにしました。

トノサマバッタは環境・気候の変化により特定の場所で生息数が急激に増える(密になる)ことがあります。そうとなぜか緑色ではなく黒や褐色のバッタがたくさん発生するようになります。また翅が長くなるようです。このような特徴を「群生相」といいます。今年の長雨や猛暑などの異常気象がもたらした黒いバッタなのかもしれません。



黒いトノサマバッタの幼虫



普通のトノサマバッタの幼虫

羽化すると



黒っぽいトノサマバッタ成虫



普通のトノサマバッタ成虫

数日後、羽化して黒っぽい成虫になりました。自然とは不思議なものです。

自然との触れ合いを

《行事予定》

アカトンボ観察会

- * 日程 10月18日(日) 13:30~15:30
- * 場所 桶ヶ谷沼周辺
- * 対象 一般(小学生は保護者同伴で。ただし、新型コロナウイルス感染拡大予防対策として引率は1人までとしてください。また、未就学児の参加はご遠慮ください)
- * 内容 アカトンボの種類や生態、区別の仕方の講義を受けた後、沼でアキアカネなどのアカトンボの観察を行います。
- * 服装・持ち物 マスク着用、帽子、長袖・長ズボンで野外活動ができる服装、水筒、タオル、メモ用紙、長靴、軍手(または手袋)、カメラ、虫眼鏡(ある方)
- * 備考 新型コロナウイルスの感染状況によっては中止になることがあります。
- ☆ 新型コロナウイルス感染拡大予防対策として参加人数は20人までとし、先着順とさせていただきます。
- ◎ 次のセンター行事は12月13日(日)9:30~11:30「いろいろな工作教室」を予定しています。参加人数は先着15人までとします。

どなたでも参加でき、参加費は無料です。申し込みは直接電話やFAXでビジターセンターへ